

令和3年度 第1回江別市まち・ひと・しごと創生有識者会議 会議録（要点筆記）

日 時：令和3年8月3日（火） 午前10時から11時10分まで

場 所：江別市民会館21号室

出席委員：田口智子座長、龍田昌樹座長代理、粕谷堅一郎委員、伊藤留美子委員
布施望委員、福澤康弘委員、田邊禎明委員、亀山和美委員
大川尚委員、腰原久郎委員、斎藤和宏委員、三浦顕治委員（計12名）

欠席者：守山英男石狩振興局地域創生部長（オブザーバー）

事務局：企画政策部川上部長、近藤次長、政策推進課水口参事、北島主査、山口主任

傍聴者：2名

会議概要

1 委員の紹介

2 座長・座長代理の選出

- ・委員の互選により、田口智子座長を選出
- ・座長の指名により、龍田昌樹座長代理を選出

3 開会

4 議事（1）江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について、事務局説明

○田口座長

令和2年度の実績値が上がっていないKPIもあるが、これはコロナ禍による経済低迷や活動が出来ないなどの影響が大きいと判断して良いか。

○事務局

全てではないが、インターンシップ数や観光入込客数などは新型コロナウイルス感染症の影響が大きいと考えている。

○田口座長

内閣府では、令和2年度に新型コロナウイルスの感染拡大に対応するため、総合戦略の改定が行われている。江別市においてもコロナ禍における地方創生の在り方について検討を重ねる必要がある。

議事（2）令和2年度江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業（地方創生推進交付金及び拠点整備交付金）の実績報告について、事務局説明

○田口座長

1点目に、資料2の2ページの学生お試し移住・定住推進プロジェクトの令和2年度事業内容等（1年目）に「連携8自治体」と記載しているが、市町村名を教えてください。

2点目に、3ページの若者「えべつ愛」育成プロジェクト～「関係人口」の創出・拡大を目指して～の実績値を踏まえた令和3年度の実行方針について「スマホアプリを周知し、在学生等にインストールをしてもらうことが重要」と記載しているが、インストールした後の取組について説明していただきたい。

3点目に、4ページの江別市就労支援プログラム事業（江別まちなか仕事プラザ事業～女性と高齢者等の就労支援～）（介護人材養成支援事業）の「まちなか仕事プラザ」はどのような形の運営をしていて、登録企業はどのような業界が多いのか分かる範囲内で教えてほしい。

○事務局

1点目の学生お試し移住・定住推進プロジェクトの連携8自治体は、江別市のほか、芦別市、赤平市、三笠市、栗山町、由仁町、長沼町、南幌町となっている。

2点目のスマホアプリについて、この事業は通称「EBETSUto」という活動をしている。江別市内4大学の学生が、卒業後江別市に就職する方が2%弱と少ないという課題を抱えている。そのような中で市内での就職は難しいかもしれないが、大学在学中に江別市を知っていただき、卒業後も何らかの形で江別市に関わりを持ち続けられるような取組を進めている。国で言うと関係人口という新しい考え方があるが、この関係人口を創出する取組となっている。

スマホアプリだが、今後、様々な有益な情報の発信を予定している。まずは大学生にインストールしていただき、江別市で行われている活動をご覧いただき、例えば、東京に就職したとしても、オンラインなどを活用し、江別市との関わりを持ち続けられるようなものにしたいと考えている。

3点目のまちなか仕事プラザは、江別市野幌町のイオンタウン江別2階にあり、就労を希望する方へ就労相談を行い、セミナーを開催している。登録している企業は令和2年度末時点で54社ある。企業登録者の業界については、医療・福祉関係、接客業関係が多くなっている。

○布施委員

3ページのえべつ食のブランド海外展開促進事業について、昨年度、台湾フェアを行ったとの話があったが、今年度に関しては新たな海外フェアは決まっているのか。今年度も同様に台湾で行うのか。

○事務局

令和3年度についても同様に海外フェアを行うことを聞いているが、台湾かは把握していない。

議事（3）令和3年度地方創生推進交付金及び拠点整備交付金の採択状況について、事務局説明

○田口座長

事務局からの説明に対し、意見等のある委員は発言願う。

○布施委員

【継続事業2年目】というのは、令和3年度のことか。

○事務局

令和2年度から始まっている事業という意味である。令和2年度から事業が始まり2年目という形となっている。

○布施委員

令和3年度が2年目ということか。

○事務局

そのとおりである。

○布施委員

話は戻るが、海外展開促進事業の台湾フェアの予定は変わってないか。

○事務局

現段階では今年度も海外フェアの開催を予定している。開催場所については、確認させていただく。

○田口座長

1点目に、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大から2年目を迎えている。そのような中で新規・継続の事業企画は、このコロナ禍がいつ収束するかわからない中で、その対応に関する企画書の中に何か明記があったのか。あるならば、どのような対応をするのか教えていただきたい。

2点目に、今後検討される中でこのような考え方も踏まえて検討していただきたいこととして、3番目の江別市就労支援プロジェクトについて、検討の中の題材を提言させていただきたい。7月5日に日本とEUのシンポジウムが厚生労働省の主催で開催された。その中では女性活躍に関する機会の提供が題材となっており、女性と高齢者就労支援の背景には男性の就労支援も検討しなければいけないと加えられている。日本とヨーロッパの共通した話題である。今後、このような就労支援をすると同時に男性の働き方なども加味した上で考えていただけるとありがたい。

○事務局

1点目に、令和2年度の戦略事業の実績、また、令和3年度の採択状況について説明したが、令和2年度と令和3年度の新型コロナウイルスの影響について、今度どのようにしていくのかという記載は特段していない。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、想定していた取組を思うように実施出来ない事業が多数存在している。これについては、新型コロナウイルス感染症の収束が一定程度見込めた段階で改めて目標値の達成見込みなどについて確認作業を行うことにしたいと考えている。そこで修正可能なKPI、目標などについては見直しを行い、適切に対応したいと考えている。

2点目の座長からの発言については、関係各部に伝えた上で適切な対応をしたいと考えている。

議事（4）第7次江別市総合計画策定方針（案）について、事務局説明

【質疑なし】

議事（5）江別市における少子化対策に向けた取組について、事務局説明

○田口座長

素晴らしい試みであると思う。今は、様々な知見を有した各部署がグループ、ネットワークとなり、新たな知を生み出す時代だと思う。説明にあったように、ただ一つのことを行えば少子化が解消されるのではなく、就労や介護や様々な社会的な問題を解消する中で、少子化についても効果や実効性が生み出されると思う。このような点においては江別市役所内でこうしたプロジェクトチーム・ネットワークが設置され、それが地域、大学など様々なところに広がり、更なる機能強化になるよう期待している。

5 その他

【質疑なし】

6 閉会